

請求の範囲

- [請求項1] 基材上に光輝性柄層を有する化粧材であって、
前記光輝性柄層は、少なくとも、第1の光輝性インキ層と、第2の光輝性インキ層とを有し、
前記第1の光輝性インキ層と前記第2の光輝性インキ層とが、下記（A）又は（B）の関係を満たし、
前記化粧材を平面視したときに、前記光輝性インキ層の各々は、前記基材の少なくとも一部分に設けられ、
前記化粧材を平面視したときに、前記第1の光輝性インキ層は前記第2の光輝性インキ層と重複する領域と重複しない領域とを有し、かつ、前記第2の光輝性インキ層は前記第1の光輝性インキ層と重複する領域と重複しない領域とを有する、化粧材。
（A）前記第1の光輝性インキ層は第1の光輝性顔料を含み、前記第2の光輝性インキ層は前記第1の光輝性顔料とは異なる第2の光輝性顔料を含む。
（B）前記第1の光輝性インキ層及び前記第2の光輝性インキ層が光輝性顔料を含み、前記第1の光輝性インキ層中の前記光輝性顔料の含有量と、前記第2の光輝性インキ層中の前記光輝性顔料の含有量とが異なる。
- [請求項2] 前記化粧材を平面視したときに、前記第1の光輝性インキ層は、複数の独立した領域の集合体からなり、個々の独立した領域の最大膜厚を対比した際に、少なくとも一つの独立した領域の最大膜厚が他の独立した領域の最大膜厚と異なる、請求項1に記載の化粧材。
- [請求項3] 前記化粧材を平面視したときに、前記第1の光輝性インキ層は、複数の独立した領域の集合体からなり、少なくとも一以上の前記独立した領域は、前記独立した領域内で膜厚が部分的に異なる、請求項1に記載の化粧材。
- [請求項4] 前記第1の光輝性インキ層の少なくとも一以上の前記独立した領域

は、前記独立した領域内で $0.15\mu\text{m}\sim 6.0\mu\text{m}$ の範囲で膜厚に分布を有する、請求項3に記載の化粧材。

[請求項5] 前記化粧材を平面視したときに、前記第2の光輝性インキ層は、複数の独立した領域の集合体からなり、個々の独立した領域の最大膜厚を対比した際に、少なくとも一つの独立した領域の最大膜厚が他の独立した領域の最大膜厚と異なる、請求項1に記載の化粧材。

[請求項6] 前記化粧材を平面視したときに、前記第2の光輝性インキ層は、複数の独立した領域の集合体からなり、少なくとも一以上の前記独立した領域は、前記独立した領域内で膜厚が部分的に異なる、請求項1に記載の化粧材。

[請求項7] 前記第2の光輝性インキ層の少なくとも一以上の前記独立した領域は、前記独立した領域内で $0.15\mu\text{m}\sim 6.0\mu\text{m}$ の範囲で膜厚に分布を有する、請求項6に記載の化粧材。

[請求項8] 前記第1の光輝性インキ層と前記第2の光輝性インキ層とが重複する領域において、前記第1の光輝性インキ層の膜厚及び前記第2の光輝性インキ層の膜厚の少なくとも何れかが部分的に異なる、請求項1乃至請求項7のいずれか1項に記載の化粧材。

[請求項9] 前記第1の光輝性インキ層と前記第2の光輝性インキ層とが、前記(A)の関係を満たし、前記第1の光輝性顔料と前記第2の光輝性顔料とは、視感反射率Y値、分光反射率、L*値、a*値及びb*値から選ばれる反射特性の少なくとも何れかが異なる、請求項1乃至請求項8のいずれか1項に記載の化粧材。

[請求項10] 前記基材と前記光輝性柄層との間に、更にベースコート層を有し、前記ベースコート層は、単色または無色の層である、請求項1乃至請求項9のいずれか1項に記載の化粧材。

[請求項11] 前記光輝性柄層上の一部に盛上げ層を有する、請求項1乃至請求項10のいずれか1項に記載の化粧材。

[請求項12] 前記基材が金属基材である、請求項1乃至請求項11のいずれか1

項に記載の化粧材。

[請求項13] 被着材と、前記被着材に積層された、請求項1乃至請求項12のいずれか1項に記載の化粧材とを備える、積層体。

[請求項14] 基材上に光輝性柄層を形成する工程を含む化粧材の製造方法であって、

前記光輝性柄層は、少なくとも、第1の光輝性インキ層と、第2の光輝性インキ層とを有し、

前記第1の光輝性インキ層と前記第2の光輝性インキ層とは、下記(A)又は(B)の関係を満たし、

前記化粧材を平面視したときに、前記光輝性インキ層の各々は、前記基材の少なくとも一部分に設けられ、

前記化粧材を平面視したときに、前記第1の光輝性インキ層は前記第2の光輝性インキ層と重複する領域と重複しない領域とを有し、かつ、前記第2の光輝性インキ層は前記第1の光輝性インキ層と重複する領域と重複しない領域とを有する、化粧材の製造方法。

(A) 前記第1の光輝性インキ層は第1の光輝性顔料を含み、前記第2の光輝性インキ層は前記第1の光輝性顔料とは異なる第2の光輝性顔料を含む。

(B) 前記第1の光輝性インキ層及び前記第2の光輝性インキ層が光輝性顔料を含み、前記第1の光輝性インキ層中の前記光輝性顔料の含有割合と、前記第2の光輝性インキ層中の前記光輝性顔料の含有割合とが異なる。

[請求項15] 前記基材上に、第1の光輝性インキ層用インキを塗布、乾燥する工程、及び、前記基材上に、第2の光輝性インキ層用インキを塗布、乾燥する工程により、前記光輝性柄層を形成する、請求項14に記載の化粧材の製造方法。

[請求項16] 剥離層上に前記光輝性柄層を含む転写層を有する転写シートの転写層を、前記基材上に転写する工程により、前記光輝性柄層を形成する

、請求項 1 4 に記載の化粧材の製造方法。

[請求項17] 前記基材が金属基材である、請求項 1 4 乃至請求項 1 6 のいずれか
1 項に記載の化粧材の製造方法。